

《1年の締めくくりに》

師走に入りました。“師”が“走る”くらいあわただしい時期です。子どもたちにとって、“師”はたくさんいます。学校の先生かもしれないし、習い事の先生かもしれません。おうちの方かもしれませんし、近所の方や学校の友達かもしれません。身の回りに見習いたい人がたくさんいる人は幸せですね。全校朝会で、「皆さんも誰かの先生になれるかもしれません」と話しました。1年を振り返り、正月に立てた目標を思い浮かべ、周りの人のお手本になるよう頑張ってもらいたいと思います。自分の日々の過ごし方を見つめなおし、心に引っかかることはすっきりして新年を迎えてほしいと思います。2学期の登校日も残り17日となりました。11日(木)より個人懇談を実施させていただきます。お忙しいことと思いますが、来校くださいますようお願いいたします。



《ネットに潜む危険》

先日、兵庫県警の方をお招きして、3～6年生対象にネットモラル学習を実施しました。インターネットでつながることが当たり前になった分、トラブルも当然のように起こります。ネット犯罪やトラブルについてはテレビや新聞でよく見聞きしますが、身近なところでも危険なことは起こっています。スマホやオンラインゲーム機の所持率が上がる中、動画サイト依存、人間関係のもつれ、高額な課金や金品持ち出し、素性不明の相手への個人情報提供など、一つ間違えれば大きな問題に発展する事案が身近に迫っており、保護者が認知していないケースが非常に多くあるようです。小学生はネットの危険性について深いところまで理解することは難しいようです。大きなトラブルに巻き込まれる前に、今一度、約束を決める、フィルタリングをかけるなどして、子どもたちのネット利用について、ご家庭において監視と管理、指導をお願いいたします。

《それぞれの学びの場を大切に ゆりのき台小の特別支援教育》

☆個に応じた学びの場 ～ゆりのき台小学校の特別支援教育～

1. ゆりのき台小学校には、特別支援学級（チャレンジルーム）で学習している児童がいます。また、通常の教室で指導補助員の先生の支援を受けながら学習したり、通級教室で支援を受けたりする児童がいます。それぞれの個性を大切にしながら、状況にあった学びの場を設けています。
2. 一人ひとりの児童が安心して生活、学習できるよう、学校全体が特別支援教育を大切にしており、支援の必要な児童には、担任だけでなく他の教師も支援ができる体制をとっています。
3. 学習する形態が異なっても、自分にあったペースで一生懸命に頑張っている子のことを理解し、お互いを認め合う集団をつくっていくことが大切だと考えています。すべての子どもたち一人一人が大切にされ、それぞれの個性や多様性を認め合い、ともに仲良く助け合っていくことをめざしています。

○特別支援学級における指導

それぞれの児童の個性や能力を伸ばし、将来の自立にむけて特別支援学級（チャレンジルーム）での指導及び交流学級での指導を児童の実態に応じて行っています。

1. 特別支援学級在籍の子どもではありますが、交流学級の児童にとっては、自分たちのクラスの一員としてお互いに認め合い助け合う指導を行っています。
2. 全クラスで、教材を使って、支援を必要とする人についての理解を深める学習を行っています。
3. 交流学級担任がチャレンジルームの学習の様子や作品を見に行くなどして、特別支援学級で学んでいる児童を理解する機会を取り、クラスの子どもたちに伝えるようにしています。

○通級教室における指導

それぞれの児童の困り感に寄り添いながら、週に1～2時間、課題の解決に向けた授業を通級教室（ステップアップルーム）にて個別に学習しています。

1. 物事のわかり方や、見え方、聞こえ方について、また、人との関わり方について、うまくいかずに困っているときに、上手に対応できるように学習しています。
2. 通級教室の様子、日常の学級内での様子などを担任と連携しながら、学んだことが日常の生活で生かせるように取り組んでいます。
3. 必要に応じて家庭と連携を図ります。また、困りごとがある場合の相談にも対応しています。

※特別支援学級や通級指導教室は、その子に応じた個別の指導を行いますが、一般的な塾や家庭教師のような学力補充の場ではなく、その子の困り感を解消するために必要な学習活動を行う場です。